



3年生のハーモニーが、見事に響き渡りました。

実りの学期である2学期。生徒の姿勢や態度、その成長を様々な成果として、出来栄として見せています。

先週金曜日開催の59回目を数える大村市中学校音楽会。3年生の見事な歌声から確かな手応えを感じることができました。「歌声が揃っていた!」というのが率直な感想です。声量やハーモニー、心や思い……などが揃っていたという受け止めです。生徒数での学校規模が市内で5番目になっている玖島中ですが、バランスのとれた合唱を存分に会場いっぱい響かせていました。3年生の生徒たちの力はもちろんのこと、音楽科担当をはじめとした3年生の教員、そして本校教員全ての関わりの賜物だと思っています。終了後に、次のような話をしました。



すばらしかった。「多勢に無勢」という言葉があるけれども、決して見劣りはしなかった。むしろハーモニー、バランスが美しかった。曲の最後の和音の練習を水曜日に入念にしていたが、見事に調っていた。

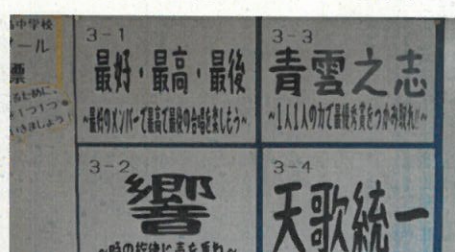
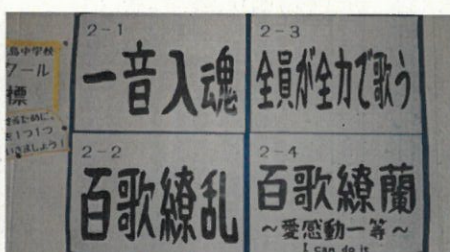
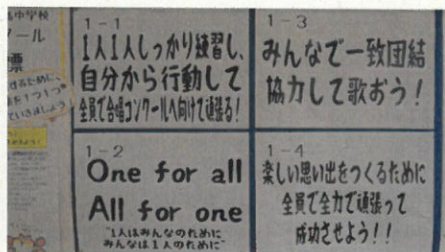
水曜日に話し忘れたことが1つある。「チャンスは一度ということ」についてである。これまでも中総体やコンクール、テストなど、1回だけのチャンス。「もう一回やり直したい。」と思っても戻らない経験をしてきたと思う。次にこの3年生で歌声を揃えるのは、卒業式の1回だけである。大事にしてほしい。

4月から「ものを言う ものに成る 人づくり」という話はよくしてきた。昨日教頭先生から「くちびるに歌」というお話があったと聞いている。今日の講評でも教育センターの先生からその話があった。実は、「瞳に輝き 額に汗 くちびるに歌 心にふるさと」ということも君たちに身に付けてほしいと思って先生方と取り組んでいる。

他校の歌声からの学びが、一人一人の中にあっただと思う。生徒会役員にも後輩へのメッセージを贈ってほしいとお願いしているが、今日の学びを月末の合唱コンクールで、先輩からのメッセージとして、それぞれの学級から1、2年生に「後ろ姿」、「歌声」で示してほしい。感動した。ありがとう。

令和4年度 校内合唱コンクールに仲間と共に挑む ～瞳に輝き 額に汗 くちびるに歌 心にふるさと～

「一人一人の歌声を揃える中で、日を追うにつれて心や思いが揃ってくる。同じ目標の実現に向けて挑んでいく中で深まる絆を感じる。」このような体験を生徒たちは日々続けています。7月の自由曲決めに始まって、各学級目標も下記のように決まっています。校内合唱コンクールに向けたその取組も、11月に入り一段と佳境に入っています。



玖島の誉れ

令和4年度 少年の主張全国大会
『文部科学大臣賞』受賞

3-1 赤川 明信

8月24日(水)の「第44回少年の主張 長崎県大会」で、「日本を耕す」と題して『兼業農家として働くお父さんの田植えを手伝う中で、短期間で立派な野菜になる植物の生命力の強さに感動するなどして農業のすばらしさを実感し、科学技術を用いる「新しい農家の働き方」や、「農業のおもしろさ」などを伝えることで日本の未来を明るくしたい。』という内容で発表し最優秀賞に輝きました。その後、九州ブロック代表に選ばれ、この度全国大会で『文部科学大臣賞』を受賞しました。「日頃の思いや考えをことばにする。」とても大切なことです。明日、11月18日(金)に長崎ブリックホールで開催される「第17回長崎県中学校総合文化祭」でも発表します。玖島中では「ものを言う ものに成る 人づくり」の実現に向け、今後も取り組んでいきます。

期末テスト終わる

今日で期末テストが終わりました。結果の一喜一憂は当然ながらありますが、やはりそれまでの努力の過程の振り返りや次に生かす改善や努力が大切です。日頃の「授業への姿勢」、「家庭学習の取組」、テストに向けた「テスト勉強の取組」などがどうだったか?ご家庭でも話題にあげていただき、「学ぶことへの向き合い方」についてお話しを深めていただければと思います。「これまで」から「今」そして「これから」が大切です。よろしくお願いします。